自立・自己実現
①生活習慣と規則を守る力
②仲間とともに高まる力
③自ら学び、考え、判断する力

学校だより DREAM

茨木市立西中学校
4月　№2
発行責任　田中義明

新入生歓迎会 3学年がそろって、スタート！

４月９日（木）、今年度初めて3学年がそろい、新入生歓迎会が実施されました。初々しい1年生の姿を前に、2・3年のみなさんもいつも以上に集中して取り組んでくれたと思います。　新入生歓迎会の意味は3つあります。

入場

対面式

3年学級委員

①新入生が新しい環境になじめるよう学校生活の紹介などを行い、歓迎の気持ちを伝える。

②在校生にとっては、昨年を振り返り、決まりや学年の取組などを自分たちで取り組む、生徒会活動の意味を再確認する。そして、それを後輩へ伝える先輩としての自覚をもつ。

③今年１年の生徒会活動がより良くすすめられるよう、3学年がそろいスタートを切る。

会長あいさつ

三宅太鼓

2年学級委員

原田会長のあいさつに始まり、三宅太鼓の演奏、対面式、2・3年学級委員から寸劇や、パワーポイントを使った学校生活の紹介、記念品の贈呈のあと、副会長高岡さんの歓迎の言葉、そして、新入生代表の福井さんが、入学式で話してくれた決意を堂々と話してくれました。そして、最後に2年生の皆さんのすばらしい合唱で締めくくられました。いいスタートが切れましたね！

記念品贈呈

2年学年合唱

歓迎の言葉

新入生決意文

新入生決意文　桜が咲きほこる春、希望に満ちた今日この日に、私たちは、この西中学校へ入学しました。
西中学校のみなさん、本日は私たち新1年生を温かく迎えてくださり、ありがとうございます。

今、私たちは、長かった六年間の小学校生活を終え、大人への第一歩となる中学校生活が新しく始まるということで、これからの学校生活への期待や不安で胸がいっぱいです。

私が今一番楽しみにしていることは、年間を通しての学校行事と、新しい友達との出会いです。西中学校の伝統ある行事や部活動などに対して全力で取り組み、その中で仲間と協力しあったりして友情を育んでいきたいと思っています。

中学生になると、校則や部活のルールなど、いろいろ守らないといけない決まりも増えるので、大人に近づいているという自覚を持ち、中学生として責任を持って行動できるようにしたいと思います。

私たち新一年生は今日、新たなスタート地点に立ちました。まだまだ未熟な私たちですが、これから、これからさまざまな事を共に学び、成長していけるよう、努力していきます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、先生方、上級生のみなさん、それから地域の方々、保護者の皆様、ご指導のほう、よろしくお願いします。そして、私たちを温かく見守ってください。どうぞよろしくお願いします。

西中生なら知っていてほしい言葉

J　4（授業初め4ヶ条）　授業初めの「準備」「構え」「礼」「聴く」のことです。

J　3（授業3ヶ条）　授業中の「考える」「伝える・聴く」「ふりかえる」のことです。

授業でJ3を大切にするために、先生方が使用する「本時の目標」「考える」「伝える・聴く」「ふりかえる」の4枚のマグネット付きのステッカーがあります。

合同班長会　全学級の班長の集まりの会議です（学年全体と学校全体があります）。

一人ひとりが居場所のある学校、家のように安心できる学校を西中はめざしています。そして、そんな学校の基礎として「班」を大切にしています。

合同班長会はそんな「班」を学校全体で支えていく要の取り組みです。

日常・仲間・自治　「日常」の中で自分と「仲間」を大切にする。そして、そんな学校を自分達の力で作る（「自治」）ということです。

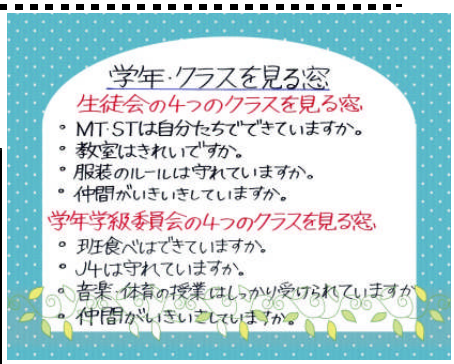
西中の自主性と責任感を重んじるベースとなる考え方です。

クラスを見る窓　自分のクラスの様子がどうなのかを見る点検項目であり、同時にめざすべきクラスの日常の様子です。

月間目標　生徒会本部が提起する全校生徒が重点的に心がける月間の目標です。

新しい先生、去られた先生

	新しく来られた先生			去られた先生		
1	村田充弘	支援級	三島中	加藤義信	教頭	天王中
2	川上陽子	家庭	三島中	山田智子	理科	東中
3	黒岩　充	数学	豊川中	久寿里靖子	数学	東中
4	吉田　清	数学	平田中	鷲﨑文実	数学	天王中
5	加藤尚一	事務	平田中	平昭公恵	家庭	養精中
6	田代俊介	社会	神奈川	門田　翔	数学	市教委
7	吉岡大志	数学	彩都西中	石井利樹	社会	東雲中
8	加藤　基	理科		近藤圭太	事務	東雲中
9	堀口耕平	体育		妻鹿さなえ	支援級	
10	クリステン	NET		板垣眞知子	理科	
11						
	よろしくお願いします！			ありがとうございました		



習熟度別授業について

西中では、2年生の数学などで習熟度別授業を実施しています。基礎をゆっくり勉強したい人、発展問題をどんどんやりたい人など、みんなそれぞれ学び方が違います。自分にあった学び方を選択し、力をつけて下さい。